

【稟議申請書】

1. 申請日
2023年01月15日

2. 申請者
部署名：システム企画部
氏 名：佐藤 一郎

3. 件名
新チャットアプリ「Direct」導入に関する稟議

4. 背景・目的
当社は従業員600名が在籍しており、主にシステムインテグレーション事業（Sier）を行っております。プロジェクトごとにチームを編成することが多く、日々のやり取りはメールとビデオ会議を中心としていました。しかし、以下の課題が発生しています。

- ・メールに頼りすぎているため、確認漏れや対応遅れが増加
- ・グループチャットツールが存在せず、情報共有に時間がかかる
- ・プロジェクトや部門間の連絡時にメール転送が多く、負荷が大きい

これらの課題を解消し、迅速かつ正確なコミュニケーション基盤を構築することを目的として、専用チャットアプリ「Direct」の導入を検討いたしました。

5. 概要
「Direct」は日本国内で展開されているチャットアプリで、以下の特徴があります。

- ・グループチャット機能が充実しており、プロジェクトや部門ごとに容易に作成可能
- ・管理画面から権限設定や監査ログなど、セキュリティ面での管理がしやすい
- ・日本語によるサポートが充実しており、運用中のトラブルも迅速に解決可能
- ・初学者でも操作しやすいUI/UXで、導入初期の教育コストが低い

導入後は、全社員が日常業務で「Direct」を活用し、以下の効果が得られる見込みです。

- ・リアルタイムでの情報共有と意思決定の迅速化
- ・プロジェクトや部門単位のチャット活用による情報整理と負担軽減
- ・クライアントや外部ベンダーとの連携における対応スピード向上

6. 導入のメリット
・メールの削減による効率アップ：短いやり取りをチャットへ集約し、メール数を減らす
・情報伝達ロスの低減：チャット履歴をプロジェクト単位で管理し、確実に参照可能
・コスト削減：コミュニケーション時間の短縮による工数削減、またメールサーバ負荷の低減
・セキュリティ向上：監査ログや権限管理機能により、情報漏洩リスクを低減

7. 導入スケジュール（案）
・2023年02月01日～2023年02月28日：試験導入（システム企画部、管理部門など計50名）
・2023年03月01日～2023年03月15日：検証結果を収集し、設定内容や運用ルールを確定
・2023年04月01日～：全社員（600名）へ導入開始
・2023年05月以降：運用定着支援、利用状況レビューと改善

8. コスト試算
・初期費用：0円（アカウント登録のみで導入可能、キャンペーン適用予定）
・月額利用料：「Direct」1ユーザーあたり600円
参考：全社員600名 × 600円 = 月額 360,000円
・導入支援費用：不要（社内IT担当者が導入作業を担当）
・年間総額：360,000円 × 12ヶ月 = 4,320,000円（税込み概算）

9. 運用体制
・システム管理者：システム企画部が権限設定や運用ルールを策定・管理
・ユーザサポート：管理部門と連携し、FAQの作成や問い合わせ対応窓口を設置
・セキュリティ管理：情報セキュリティ部門と連携し、アカウント管理や監査ログの確認を

定期的に実施

10. リスクと対応策

- ① セキュリティリスク（外部からの不正アクセス）
⇒ パスワードポリシーの徹底、二要素認証の活用検討、定期的な監査ログの確認
- ② 運用定着不足（慣れないチャットツールの利用回避）
⇒ 利用ガイドや研修の実施、定期的なQ&Aセッションの開催
- ③ 費用対効果の不透明化
⇒ 半期ごとに利用状況をレビューし、ROI指標を設定。必要に応じて契約プランや導入

範囲の見直し

11. 承認依頼

本稟議に基づき、以下の内容で「Direct」を導入したく、承認をお願いいたします。

- ・導入規模：全社員（600名）
- ・導入開始：2023年04月01日予定
- ・導入予算：年間4,320,000円（概算）

【関係部署決裁欄】

決裁者	署名	日付
システム企画部長	[林田]	[1/17]
情報セキュリティ部長	[木本]	[1/18]

以上